医療の未来を拓く





宮崎の地域医療の今を伝える医師・ 医学生向けの情報サイトです。 宮崎で医療に携わることの魅力と 希望、そして臨床現場での人と人との 絆の物語を日々発信中。

▶ 宮崎県地域医療支援機構





始めました。

みやざき地域医療応援団への登録

スマートフォンで QR コードを読み取ると、登録フォームが表示されます。ご登録いただいた方には、広報誌の送付、イベン トのご案内など宮崎県の医療の最新情報をご提供いたします。



お問い合わせ 宮崎県地域医療支援機構〔事務局:宮崎県医療薬務課〕

〒880-8501 宮崎市橘通東二丁目 10 番 1 号

TEL. 0985-26-7451 / E-mail: iryoyakumu@pref.miyazaki.lg.jp



宮崎県

医師を育て、招き、地域医療を支える

宮崎県の

医師力支援



宮崎県 地域医療支援機構

はじめに



宮崎県知事 **河野 俊嗣** 宮崎県知事の河野俊嗣(こうのしゅんじ)です。

宮崎県では、今、本県の医療提供体制を再構築 するために、行政、大学、医師会が連携して様々 な取組みを行っております。

その一つとして、県内の地域医療に関係する 機関が一体となって、医師の養成や招へいなど に取り組む「宮崎県地域医療支援機構」を平成 23 年 10 月に設立いたしました。

この機構が、地域医療に従事する医師のキャリア形成等のサポートや医師不足病院に対する

医師招へいなどを推進することで、宮崎の地域医療の維持・充実につ なげてまいりたいと考えております。

宮崎は、県民あげて医師を支えてまいります。

医師の皆さま、是非、宮崎の地であなたのキャリアを生かし、宮崎の 医療、そして人々の安全・安心な暮らしを支えるためにご協力をお願 いいたします。

宫崎県地域医療支援機構

宮崎大学、宮崎県医師会、県内市町村及び宮崎県を構成機関として、以下の事業に取り組みます。

36 内・外・整・リハ・放・消

50 内・外・リハ

108 内·放·外

内·外·小

30 内·外·整

19 内·小·外

19 内・外・整・小・放

30 内・小・外・整・リハ

脳神·泌尿·形外

19 内・外・整・小・リハ

50 内・外・リハ・整・放

103 内・外・整・リハ・放・小・眼・耳鼻・麻

Q1 内・外・脳神外・循内・消内・放・呼内・リハ・麻・リウ

61 内・消内・消外・小・外・整・放・リハ・アレ・眼

199 内・糖代内・呼内・消内・循内・神内

小・神小・整・リハ・放・麻・歯

内・小・循内・消外・整・産婦・泌尿・放・麻・

腫外・心外・救急・肝胆膵外・リハ・呼外・神内

29 内・整・放・リハ

3 内·整

19 内·外

143

56 内・外・リ

456

60 内·小·外·整·泌尿·皮·循·眼·耳鼻

内・小・外・整・産婦・耳鼻・皮・泌尿・放・ 麻・脳神・神内・眼・リハ・心外・精・歯口外・ 循内・心内・臨検・病診・救急・呼外

- ■医師不足状況等の把握・分析
- ■医師不足病院の支援

1 五ヶ瀬町国民健康保険病院

2 高千穂町国民健康保険病院

3 日之影町国民健康保険病院

6 延岡市夜間急病センター

8 国民健康保険諸塚診療所

椎葉村国民健康保険病院

9 美郷町国民健康保険北郷診療所

10 美郷町国民健康保険南郷診療所

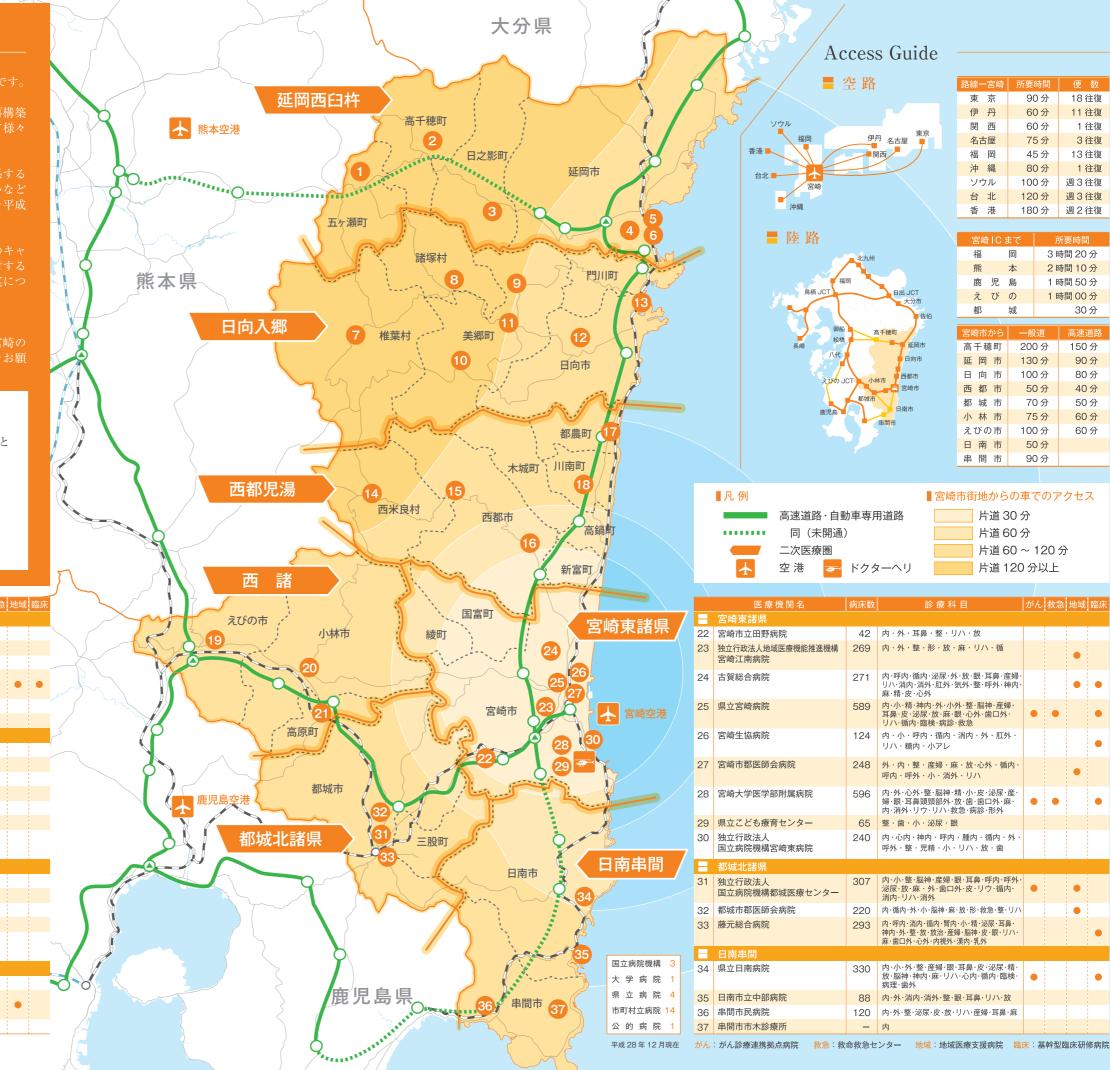
11 美郷町国民健康保険西郷病院

12 日向市立東郷病院

4 県立延岡病院

5 延岡市医師会病院

- ■医師のキャリア形成支援
- ■情報発信と相談への対応
- ■地域医療関係者との協力関係の構築



地域医療の魅力

医療の原風景 そして 市民大応援団



美郷町 地域包括医療局 総院長

宮崎市出身、1981 年宮崎医科大学(現·宮崎大

<mark>宮崎医科大</mark>学附属病院、社会保険宮崎江南病院、 県立宮崎病院、三股町国民健康保険病院等に勤務、 西郷村の健康管理センター所長、医療管理室長の 兼務を経て、西郷病院・北郷診療所・南郷診療所 の総院長として臨床の現場に立ち続けながらも、 行政の地域包括医療局の長として、条例制定、議会 や住民、メディアをも巻き込んだ地域医療を展開。

翔け! 総合医

■ 地域医療は人と人との絆

「なんで昨日の夜のうちに来んとね」 「先生を起こしたら悪いかいよ」

夜のうちはつらいのを我慢して、朝を待って病院 の外来にやってくる患者さん。美郷の人は本当にこ こで働くお医者さんを、ともに暮らす仲間として大 事に思っています。患者と医師がお互いに思いやる 心が、固い絆と笑顔を生んでいくのです。

もともと医療は暮らしの中にあります。人と人と の絆の中で医療は育まれます。この実感を若いうち から体感して、そして総合医へ。

いよいよ総合医の確立にむけて国も動き出しまし た。臓器別専門医と同等に専門医としての総合医の 活躍が期待されます。

昔から地域医療の現場では地域包括医療・ケアを 実践してきました。この現場こそがこれからの総合 医になるための最高の研修の場かもしれません。

この地域包括医療・ケアを重ねながら総合医とし ての技量を上げていく。そしてそこに市民大応援団 の姿が見られる。これぞ地域医療の醍醐味ではない でしょうか。

■ 地域医療と市民大応援団

市民大応援団とは国民1人ひとりが医療の不確実 性も含めて、医療に対して理解を深めて応援してい ただく姿です。

市民、議会、首長、メディア等すべてがこの大応 援団に加わっていく。延岡市をはじめ県内少しずつ この姿が見えてきました。大変ありがたいと思います。

住民との交流から 生まれいずる物語

■地域医療塾の開講

地域医療の文化・魅力をこれからの医師達へもっと 積極的に伝えたい。その思いで平成23年7月に「地 域医療塾」(心の遊び塾) を美郷町に開講しました。

広く市民との交流を深めつつ、医学生やこれからの 医師達と共に学び、遊ぶ。そして塾での学び、遊びを 通じて、地域医療の魅力をたっぷりと感じながら総合 医としての研修・経験を重ねていく・・・。ときに はそば打ち体験も!



議員発議で「美郷町の地域医療を守る条例」が誕生 しました。これからはこの条例を合い言葉に市民・医 療機関・行政がそれぞれの役割を実践しながら地域医 療の充実につながっていきます。

この姿こそが医療の原風景・地域医療の文化なのかも。 まさに市民大応援団そのものの姿ではないでしょうか。

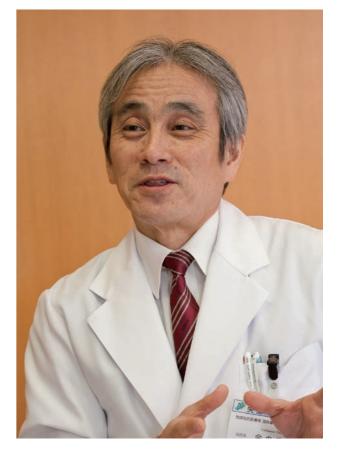




■ 地域包括医療・ケアのイメージ図



山口 昇:全国国保診療施設協議会常任顧問「地域包括ケアシステムイメージ図」改変



医療を志す君へ

人との関わりを大切に、心の温かい医者になってください。

自分で描く、自分の未来

多様な研修プログラムで自己開拓

■ 宮崎県での臨床研修の特長

宮崎県内の基幹型臨床研修病院は7つ。全国的にも けっして多い数ではないですが、大学病院と県立3病 院と3つの民間病院からなる基幹型病院が相互にしっ かり連携し、大病院でしか学べない症例、あるいは地 域でしか学べない臨床医療の現場など、その両方を経 験できるところが宮崎県での臨床研修の特長です。



研修プログラムも多様で、たとえば、宮崎大学では、 研修医本人が希望する地域エリアや協力病院を選んで 研修に臨むことができ、自由度の高いオーダーメイド のローテーションプランを組むこともできます。その 分、医学生時代から自らの将来を見据えた高い意識が 必要です。

自ら考え、どんな状況にあっても自発的に対応でき るような足腰の強い医師として育っていくために、県 内の医療教育資源をフル活用して、さらなる研修プロ グラムの進化を目指しています。



また、県をあげて研修プログラムへの意識改革が進 み、熱意ある指導医が各地の病院で増えていっている のも魅力の一つです。おおらかな風土の中で、研修医 同士も自然と仲が良くなり、苦楽をともにした一生付 き合える仲間も見つかることでしょう。

求められているあるべき姿

ニーズに対応できる お医者さんに

■ キャリアパスについて

そもそも専門医と総合医は対立するものではありま せん。医師のキャリアが40年だとして、はじめの10年 程度は、両方がどんな立場を担っていくかを行ったり来 たりしながら、両方に求められている素養を身につけて いく、両方学んでいくことが大事です。

多様な医療の場の経験、その中で様々な指導医との出 会いが、生涯医師を続ける上での糧となるはずです。



■ 医療を目指す君へのメッセージ

今、社会で求められているのは、気軽に声をかけられ てコミュニケーションのとれる、患者さんの不安に寄り 添ってくれるような、心の温かいお医者さんです。勉強 はもちろん頑張ってほしいですけれど、とりわけ社会 との関わり、友達との関わり、先輩との関わりというも のを常に頭の片隅に置きながら、学生生活を過ごして いってほしいと思います。

そして、地域医療にこそこれから求められる医療の本 質や、新しい医療の形があります。都会が先端ではなく、 地域にこそ次の Seeds - 種が芽吹くのは間違いないと考 えます。地元を愛して地元を大事にして、積極的に患者さ んに関わっていくことで、医者として、サイエンティスト として世界に発信するチャンスも生まれていきます。

ここ宮崎というのは、人と人とのつながりを大事に する土地柄で、医師もまた、患者さんから鍛えてもらい ながら、地元のつきあいの中で人間として成長してい く。ひとりの医師としても人としても、果たすべき責任 は重いですけれど、とてもやりがいのある仕事です。 宮崎でいっしょに医療の道を歩んでみませんか?



宮崎大学医学部 医療人育成支援センター 副センター長 臨床医学教育部門 教授 宮崎大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター センター長

小松 弘幸 Komatsu Hiroyuki

日向市出身。1998年宮崎医科大学(現宮崎大学

関西で初期研修後、2000年に宮崎医科大学第一 内科に入局。腎臓内科専攻。2006年より卒後臨 床研修センター専任となり、初期研修医の指導に 従事。医学教育改革推進センター准教授を経て、 2016年より卒後臨床研修センターのセンター長 も兼務しながら、医療人育成支援センターの副セ ンター長に就任。



宫崎大学医学部附属病院



本院は、大学病院と県下 全域の協力型病院との双方 向性研修を通じて、バラン ス感覚に優れた視野の広い 研修医を育成します。 平成24年4月からは、救命

救急センターの設置、ドクターヘリの導入により、救急医 療体制のさらなる強化を図ってまいります。

お問い合わせ 〒889-1692 宮崎市清武町木原5200 医学部総務課卒後臨床研修係

宮崎県立宮崎病院



大正 10 年に設立された当 院は、宮崎市の中心部に位置 し、多数の診療科を有する地 域の中核的病院としての役 割を担っています。「第三次 救急医療施設」、「地域がん診

療連携拠点病院 などの他、多くの専門学会認定医・専門医の 研修・教育(関連)施設に指定されています。

お問い合わせ 〒880-8510 宮崎県宮崎市北高松町 5-30 事務部経営企画担当 TEL. 0985-24-4181

宫崎県立延岡病院



当院は、病床数 456 床、 19 診療科並びに 5 センター (救命救急、心臓血管、脳 神経、周産期、消化器)を 有する急性期型病院で、宮 崎県北部医療圏の二次・三

次医療を担っています。救急医療の要であり、屋上にヘリ ポートを備えた新しい救命救急センターの運用を開始して います。

お問い合わせ 〒882-0835 宮崎県延岡市新小路 2-1-10 事務部経営企画担当

宫崎県立日南病院



当院は昭和 23 年に設立さ れ、県南部地域において総合 的な医療を提供できる唯一 の医療機関として、地域の医 療機関等と連携し、急性期医 療や高度医療、救急医療等を

担っています。また、症例数も多く、特にプライマリ・ケアを 学ぶ研修医には理想的な環境です。

お問い合わせ 〒887-0013 宮崎県日南市木山 1-9-5 事務部経営企画担当 TEL. 0987-23-3111

臨床研修病院

充実した環境・豊富な症例 県全体で取り組む地域支援体制

古賀総合病院



本院は、平成 23 年に地 域医療支援病院の認定を受 け、地域の中核病院として の役割を担っております。 腎センター、周産期センター、 高度生殖医療センター、スト

レスケア棟、内視鏡外科手術センター、がん治療センター等 を備え、都会の医療レベルにひけを取らない医療レベルを 維持するための人材の育成等に日々務めています。

お問い合わせ 〒880-0041 宮崎県宮崎市池内町数太木 1749-1 庶務課 TEL. 0985-39-8888

宮崎生協病院



地域の『かかりつけ医療 機関』として、24時間いつ でもお応えできる医療機 関として機能しています。 往診や労災職業病への取 り組みとして、振動病検

診、塵肺検診も行っております。また県内約4万6000人 の医療生協の組合員さんとともに保健予防活動、健診活 動にも力を入れ、地域での健康づくりも担っています。

お問い合わせ 〒880-0824 宮崎県宮崎市大島町天神前 1171 医局秘書課 TEL. 0985-24-6877

藤元総合病院



病床数 343 床で 23 の診 療科を有し、宮崎県の南西 部で鹿児島県に接して位置 しています。両県にまたが る広域医療圏の診療に対応 し、サイバーナイフ・ガン

マーナイフ・脳磁図をはじめとする最先端の医療機器をい ち早く導入し、循環器・脳外科など救急医療にも幅広く対 応しています。

お問い合わせ 〒885-0055 都城市早鈴町 17-1 TEL. 0986-25-1313

医師の状況

医師数・診療科別・年齢構成の状況

二次医療圏別の状況〔総数〕

県内の医師数は年々増加しており、平成26年12月末 現在で 2,730 人となっていますが、二次医療圏別では、 宮崎東諸県に県内の約半数の医師が集中しており、同医 療圏のみ人口 10 万人当たりの医師数で全国平均を上 回っています。

■ 二次医療圏別の医師数分布図



全国平均 10 万人対: 244.9人 (+7.1人) 平成 26年 12 月末現在「医師·歯科医師·薬剤師調査」(厚生労働省)

診療科別の状況〔医療施設従事医師数〕

各診療科とも宮崎東諸県に約半数の医師が集中して います。

(単位:人)

医療圏	内科系	外科系	小児科系	産婦人科系	その他	医師数計
延岡西臼杵	104	56	15	13	56	244
日向入郷	53	39	5	6	44	147
宮崎東諸県	555	298	71	73	438	1,435
西都児湯	56	40	12	2	23	133
日南串間	61	30	8	6	46	151
都城北諸県	126	91	17	18	106	358
西 諸	50	35	4	7	34	130
計	1,005	589	132	125	747	2,598

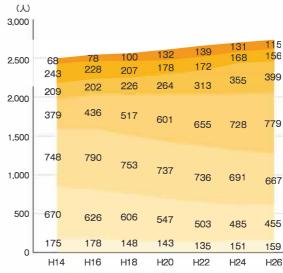
平成 26年 12 月末現在「医師·歯科医師·薬剤師調査」(厚生労働省)

年齢構成の状況〔総数〕

年齢構成では、40代から50代の医師の割合が全国 と比べて高く、20代から30代の医師が低くなってい

30代の医師数は年々減少しており、平成14年と比 べ約3割減少しています。

20代は、平成14年と比べ約1割の減少ですが、平 成24年以降は増加しています。



20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代 各年 12 月末現在「医師·歯科医師·薬剤師調査」(厚生労働省)

基幹型臨床研修病院

生

高

校

生 0

方

宮崎県の医師支援

県をあげて医師をサポートします。

■ キャリア形成支援

■県内で医療に従事する医師を対象に、専門医等の資格取得を支援します。

─● 地域医師キャリア形成支援事業

■ 勤務環境改善支援

■ 医療従事者の勤務環境改善を促進するため、医療機関の勤務環境改善の取組みを支援します。

● 医療勤務環境改善支援センター事業

■患者の適切な受診を促すための各種団体の取組み等を支援します。

── 救急医療利用適正化推進事業 訪問救急教室、オピニオンリーダー育成・強化対策

→ 小児救急医療電話相談事業

■女性医師が働きやすい環境の構築を支援します。

→ 女性医師等就労支援事業

── 保育支援サービスシステムモデル事業

■ 小児科や産科など特定診療科支援

■小児科専門医取得を目指す医師を支援します。

→ 小児科専門医師研修資金貸与事業 貸与額:月額15万円(最大3年間貸与)

返還の免除:専門研修終了後、県内の小児医療機関に1年間勤務した 場合、研修資金の返還を免除します。

——● 小児科専門研修医症例研究事業

■地域で分娩を取り扱う医師や助産師を支援します。

● 産科医等確保支援事業

■ 県外医師の就職支援

■宮崎県で働きたい医師を支援します。

● 無料職業紹介事業

「みやざきに戻って医療を行いたい」「みやざきの地域医療を支えたい」といった気持ちをお持ちの医師を 「みやざき地域医療応援団」として登録し、地域医療に関する情報や各種イベントの案内などさまざまな情 報を提供するとともに、実際に県内での勤務を希望される医師に対しては、ご希望等を伺った上で、病院見 学会などを実施し、就職に結びつくよう支援します。ぜひ「みやざき地域医療応援団」にご登録ください。

■ 修学資金貸与

医学部在学期間中の修学資金を貸与します。

——● 医師修学資金貸与事業 貸与額:月額10万円(最大6年間貸与)

入学金相当額:28万2千円(入学した年のみ)

返還の免除:貸与を受けた期間と同じ期間、県が指定する医療機関で勤

務した場合、返還を免除します。

■ 地域医療ガイダンス

■地域医療への関心を深めます。

対象:医学生(1~2年生・5年生)

内容:へき地病院等での臨床実習や地域での生活体験等

■ 宮崎大学オープンキャンパス・宮崎大学医学部講座

■医学部で学ぶことへの理解を深めます。

内容:模擬講義や模擬実習の体験、施設見学、医学部生の交流会等





みやざきでの暮らし

豊かな自然と暮らしが融合した土地です。



暮 豊かに暮らす

緑豊かな自然の中、国際室内 楽音楽祭など文化・芸術に触 れる機会に恵まれるとともに、 中高一貫校などの教育環境も 充実しています。

また、住宅の敷地面積は平均 345 ㎡と広く、通勤時間の平均 は21分で、自分らしい充実し た生活を宮崎では送ることが できます。人と人、地域と地域 との繋がりを感じつつ、ゆった りと暮らしましょう。



暖かい気候が、 温かい人柄を育てています。

宮崎県は、九州の東部に位置し、「太陽と緑 の国」と称されるように、温暖な気候に恵ま れ、全国トップクラスの日照時間、快晴日数 など日本で最も太陽に恵まれた地域です。ま た、東には日向灘、西には九州山地を擁し、水 と緑に恵まれた豊かな自然と日本人にとって 心のふるさとと呼べるような原風景のほか、 大地や海の恵みを生かしたおいしい食べ物、 各地に伝承されている神楽や祭りなど地域の 中で守り続けられているたくさんの資源があ ります。

そして、そこで暮らす人々は、あたたかく豊 かな人情にあふれています。このように恵ま れた住環境、心温かな県民性に加え、人と人と の「絆」、地域の「絆」の素晴らしさを日々実感 できる風土です。













旬を食べる

温暖な気候、緑豊かな大地、 黒潮流れる日向灘…。宮崎は、 大自然の恵みを受けて、豊かな 農林水産物を産み出す「食の宝

県をあげて地産地消やブラ ンド対策に取り組み、日本一の 「宮崎牛 |や「マンゴー |、「日向 夏」などの特産品は、全国でも 大人気。「チキン南蛮」や「地鶏 の炭火焼|などの郷土料理も 絶品です。



生活を楽しむ

雄大な太平洋に面した宮崎 は、風光明媚な観光名所からロ マンあふれる歴史スポット、ゴ ルフやマリンスポーツを楽しむ 施設が充実。野球やサッカーな どプロスポーツの春のキャンフ 地としても有名です。

山遊び、川遊び、磯遊び。こ どももおとなも、美しい森とき れいな水の自然の中でのびのび 暮らしていたい。そんな願いが 実現できるのも宮崎ならでは。



